

アルメニア人女性旅行家による日本紀行のデジタル書籍化

5月16日、アルメニア・アメリカン大学(AUA)において、アルメニア人女性ヘギネ・メリク＝ハイカジャンが1905年に出版した「日本紀行」のAUA デジタル図書館への掲載を記念する催しが開催され、山田大使も出席しました。

1905年という同書の刊行年は、日本と近代アルメニア間の最初の接触が従来考えられていたより早い時期に遡ることを示しており、両国関係史上も重要な発見と言えます。

この日は同書の存在を発見したアンナ・ヴァルタニャン女史が講演を行った他、アルメニア国民議会の対日友好議員グループ会長を務めるエドガル・アラケリヤン議員、メルジャン・カラペチャン AUA デジタル図書館館長、日本研究者のアルツヴィ・パフチニャン氏、詩人のアルメヌヒ・シシヤン女史らが挨拶を行いました。



ヴァルタニャン女史、アルケリヤン議員と



参加者との懇談



日本の童話のアルメニア語訳を贈呈される



ジャン女史との懇談



ヴァルタニャン女史、カラペチャン館長と



日本関係者の集合写真